

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 全国高等学校総合文化祭開催準備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化伝承課 電話番号：058-272-1111(内3149)
全国高等学校総合文化祭総務企画係 E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 89,000 千円 (前年度予算額： 28,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	28,000	0	0	0	0	0	0	0	28,000
要求額	89,000	0	0	0	0	0	0	0	89,000
決定額	89,000	0	0	0	0	0	0	0	89,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

各都道府県代表高校生による芸術文化活動の祭典である全国高等学校総合文化祭は、令和6年度に岐阜県での開催が決定している。

当該文化祭は、高校生の創造活動の向上や相互交流を図るものであり、その成功に向けて着実な準備を進めていく必要がある。

開催1年前となる令和5年度は、本大会開催に向け、生徒と共に企画・運営についての検討を行い、準備を進めていく。

(2) 事業内容

- ・第2回実行委員会開催(5月)
- ・業務別委員会、部門別委員会、生徒実行委員会開催(随時)
- ・プレ大会開催(10月)
- ・先催県の視察及び実行委員会等会議出席などを通じた情報収集
- ・会場市町との連絡調整
- ・大会の広報PR活動
- ・国際交流事業

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	9,192	職員業務旅費（県外視察調査、文化庁等調整等）
需用費	300	委員会開催のための消耗品費他
役務費	100	開催通知郵送費他
負担金	79,408	実行委員会負担金
合計	89,000	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

県教育振興基本計画において「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が目標として掲げられている。

（2）国・他県の状況

令和3年度開催 和歌山県
令和4年度開催 東京都
令和5年度開催 鹿児島県

（3）事業主体及びその妥当性

全国高等学校総合文化祭の主催者は、文化庁、(公社)全国高等学校文化連盟、県高等学校文化連盟、県、県教育委員会、開催地市町及び開催地市町教育委員会である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

本大会の開催を通じて、高校生の創造活動の向上や生徒間の交流を図り、高校生の文化部活動の活性化につなげるとともに、鑑賞者も含めた県民全体の芸術文化活動の機会創出と育成を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①高校文化活動に取り組む生徒の割合	17.9%	17.4	17.7	18	18.3	
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 先催県から情報収集を行い、開催に向けての業務の明確化、各部門の課題の洗い出しができた。 開催会場候補市町村との調整を進め、開催会場計画を作成した。 未設置部門について、他県先進校の活動や県総文祭における部門運営等を視察し、次年度以降に向けて開催手法を学ぶことができた。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 開催準備委員会を開催し、実施運営等の開催準備を進めることができた。 大会テーマ、イメージソング等を公募・決定し、広報活動を進めた。
	指標① 目標：17.4 実績：17.4 達成率：100%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	各都道府県が持ち回りで開催する事業であり、主催は文化庁、(公社)全国高等学校文化連盟、県高等学校文化連盟、県、県教育委員会、開催地市町及び開催地市町教育委員会である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	令和4年度東京大会の総合開会式やパレード及び部門を視察したほか、令和5年度開催の鹿児島県と情報交換を行うことにより、開催に向けた準備を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	視察や先催県から情報収集した結果を高文連や高文連各部門と共有し、開催に向けた準備を着実に進めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>本大会に向け、特に部門教員の業務が増加することから、授業時間数軽減措置に伴う代替講師の配置など人件費要求の必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>本大会開催・成功に向けて着実に段階を踏んで準備を継続していくとともに、大会を契機とした文化芸術活動を通じた創造活動を推進していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】